

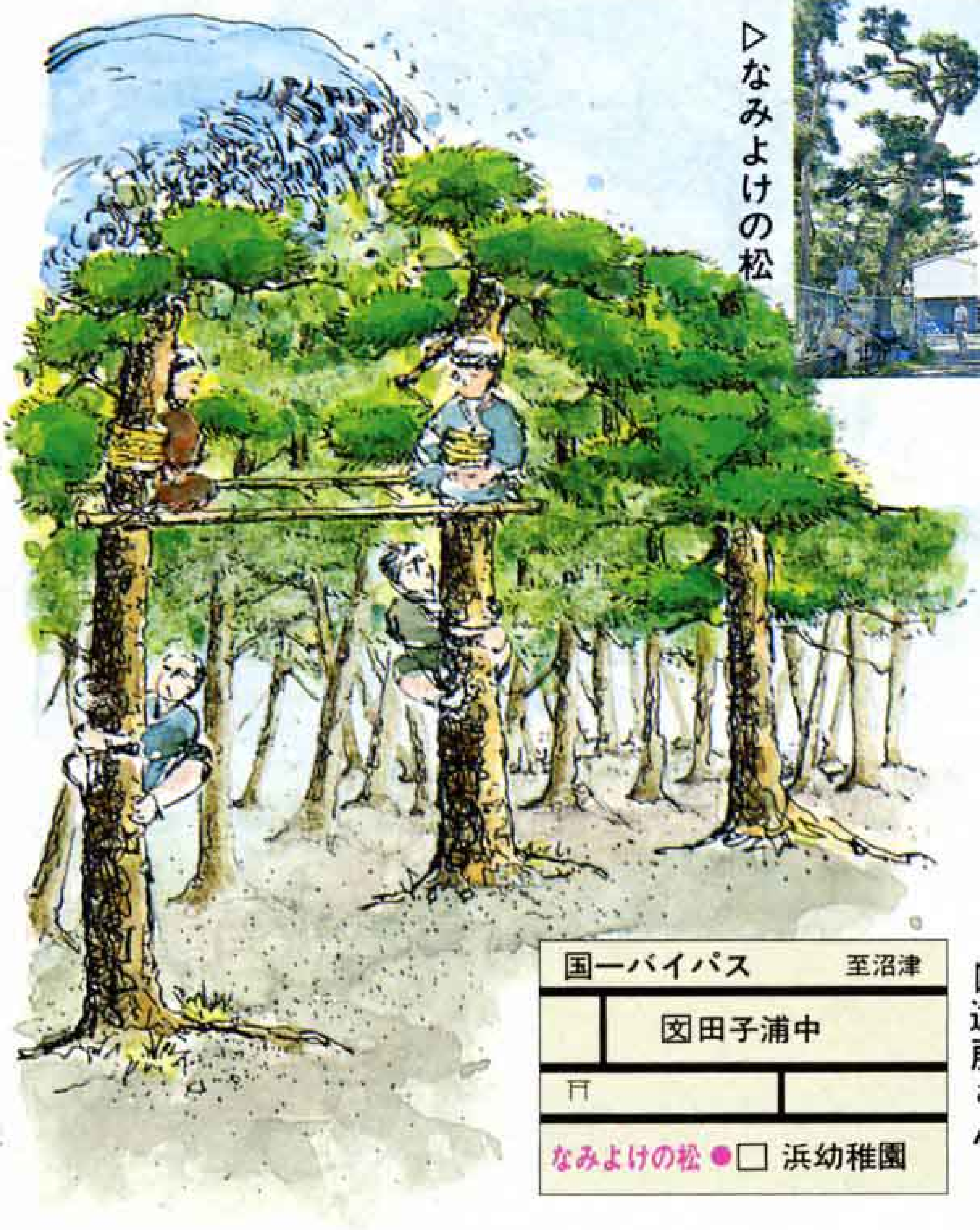


# 中丸の なみよけの松

中丸(田子浦地区)の浜幼稚園の西側付近に「なみよけの松」と呼ばれる大きな松があります。今回は、この松の話を中丸浜の遠藤利政さん(六十七歳)に伺いました。



▷なみよけの松



国一バイパス	至沼津
区田子浦中	
● なみよけの松 □ 浜幼稚園	



▷遠藤さん

## 台風が来ないように

田子の浦海岸の堤防は、今でこそコンクリート製で、大変高く頑丈になっていますが、昔は砂の袋を積み上げただけの堤防でした。ですから、大きな波が来るとひとたまりもありません。人々は、毎年秋になると「台風が来ませんように」と祈り、風よけ、波よけになってくれる松をととても大切にしていました。

## 切れた堤防

明治三十二年十月七日のこと

です。田子の浦一帯を台風が襲いました。雨は滝のように降り、風はうなるように吹いてきます。海岸に打ち寄せる大波は、あつという間に堤防を切ってしまいました。人々は「堤防が切れたぞー」と叫びながら、高い所へ避難しました。

逃げおくれた人々は、松の高いところによじ登り、波のおさまるのを待ちましたが、一向にその気配はありません。

鳴り響く風や波の音を聞きながら、人々は松の木の間に棚をつくり、老人や子供を乗せました。

ある人は、体を幹に縛りつけ、神様に祈りながら波の過ぎるのを待ちました。

こうして多くの人が、松に助けられました。でも残念なことに、当時の面影を残す松は、今では一本だけになり、「なみよけの松」と呼ばれています。

## 松を見て戒めに

遠藤さんは「律波の恐ろしさは忘れがちですが、私たちは、なみよけの松を見ては、防災意識を高めています。年に数回、地元の中学生が松の周辺を掃除してくれるとき、この話もしましたが、みんな信じられないような顔をしますよ」と話してくれました。

## あなたの生活便利メモ ⑤

### 一人で悩まず相談に

市民相談室は市への要望・苦情や、日常生活上の悩みことなどの相談に毎日応じています。相談はすべて無料で、秘密はかたく守ります。

相談を担当する酒井正利主任は「市民相談と交通事故相談は毎日行っています。最近の市民相談は、市への要望などより、相続や土地、夫婦問題などの民



酒井正利主任

事的相談が多くなってきました。曜日によって、専門家が相談に應じる法律相談や税務相談、人権相談、心配ごと相談などさまざまな相談も行っています。偶数月の第二木曜日には、市長が直接相談に應じる市長相談も行っています」と、にこやかに語ります。一人で悩まず、お気軽にどうぞ。内線は三三三です。

## こちら編集室

リサイクルについて特集してみました。のみ込みが早い人なら「ところで広報ふじは、再生紙かい」なんて言われそうです。残念ながら広報ふじは再生紙ではありません。

広報ふじはこれまで「紙の都の広報紙だから、全国に出しても恥ずかしくない紙を」と、現在のコート紙を使ってきました。さて、皆さんのお考えは、いかが？



## 遊々タイム ⑤

### 【ツーリング】

まだ明けやらぬ朝の町を、イタリアンレッドのオートバイ「マーニ」が駆け抜けます。黒いライダースーツに身を包み、乗っているのは、吉原4丁目の石川勝雄さん50歳。

これから、日の出を見に行くところですよ。隅から隅まで磨かれ、手入れの行き届いた車体から、調子のいいエンジン音が響きます。エンジンの焼ける音、マシンのにおい、移り変わる景色。それらのすべてが、五感を心地よく刺激します。「オートバイは生き物。そして、一体化できるもの。だから、自分の感性に近づけてみたい」とは、石川さんの弁。